



広報 のだ 11 月号

ホームページ <http://www.vill.noda.iwate.jp>
E-mail soumu@vill.noda.iwate.jp

内 容

第60回野田村民大運動会	2～3 頁
塩の道を歩こう会	4～5 頁
躍動	6～7 頁
むらの話題	8～11 頁
生涯学習コーナー／村からのお知らせ ..	12～13 頁
お知らせ・情報ステーション	14～15 頁
1歳になったよ！イラストコーナー	16 頁



活躍がきらり！村民大運動会

10月5日、山村広場で第60回野田村民大運動会が開催されました。老若男女が一堂に会した運動会では世代を超えて一人ひとりの活躍が“きらり！”と輝きました。当日は、テレビ番組の撮影に訪れた石原詢子さんも登場し綱引きや野田音頭・野田節の踊りを村民と共に楽しみました。（関連 2～3 頁）

帰ってきたF1レース!

年代別の50m徒競走。
スタートダッシュが肝!
の短距離決戦



走る姿が美しい!

ムカデ競走リレー

男女各4人ずつで1組のムカデとなり、
トラックを半周しました



安定した走りの城内上チーム



ああ!後ろの足がもつれてるよ!(米田南浜チーム)

親子で障害物レース

小学生と保護者がチームとなって競う種目。
コーラの早飲みなど結構大変!



コーラ早飲み

「大丈夫か?」親子の絆(玉川チーム)



風船割り

あ〜!尻もちついちゃう!(米田南浜チーム)

綱引き



地区の旗を振って応援!(新山チーム)

孫の手も借りたい

動くカゴをめがけて玉入れ!
難しい〜っ!



よ〜く狙って…カゴに狙いを定めます



新婚の頃の気持ちで仲良くゴールを目指す

新婚さんいらっしゃい

男女ペアで挑戦。最後はおんぶか手をつないでゴール♡

地区対抗リレー

地区の精鋭による
白熱の対抗リレー



絶対に負けられない…!

小野寺賞表彰

スポーツ競技会やコンクールなどで優れた成績を収めた個人や団体に対して贈られる小野寺賞の受賞者が運動会開会式で紹介され表彰されました。



写真右から受賞者を紹介します

堀越大樹さん(久慈工業高校3年)

第48回岩手県高等学校新人大会ウエイトリフティング競技(85kg級)、第14回赤坂杯争奪ウエイトリフティング大会(85kg級)第1位

小野魁斗さん(久慈高校3年)

第46回岩手県高等学校1・2年体重別柔道選手権大会(60kg級)第1位

中野修源さん(盛岡大学付属高校3年)

第46回岩手県高等学校1・2年体重別柔道選手権大会(73kg級)第1位

野田村食生活改善推進員協議会

厚生労働大臣表彰受賞、国立循環器病研究センター主催S-1g(エスワングランプリ)大会に久慈保健所チームとして参加しグランプリ受賞

村民大運動会の総合順位

順位	地区名	点数
1	泉沢・中平	417
2	明内・横合	393
3	城内中	369
4	玉川	337
5	城内上	332
6	新山	327
7	城内下	297
8	米田・南浜	295



選手入場

城内下チームの最前列中央を歩いているのは前田公司さん。御歳89歳! 堂々たる行進です。

▼ 前回優勝の泉沢中平地区広内誉選手が宣誓



▲スポーツ推進委員によるラジオ体操



心をひとつに

15歳以上の男女各6人ずつの計12で行う“ボール送り”の競技。前後の間隔もやりやすさに影響するようです。連携プレーで目指せ上位!



◀笑顔満点の泉沢中平チーム

騎馬戦

小学校5、6年生を乗せた各地区2つの騎馬が出陣! 帽子だけでなく肩につけた紐も奪い合う戦となりました



明内横合チームを攻める城内中チーム



後ろから…えい!(写真右:玉川チーム)

いつかは一年生

就学前の幼児が参加。スタート位置前方の宝袋を目指して障害物を避けながら走りました



宝袋ゲット!!



1騎で戦った城内下チーム大健闘!



新山チーム(右)、城内中チーム(左)に押され気味?

塩の道を歩こう会

10月19日、澄み渡る青空のなか先人達が踏みしめた命の道を辿る「塩の道を歩こう会」が開催されました。村内外から約30人の参加者が集まり、美しく色づいた紅葉を楽しみながら約5時間の道を歩きました



先頭を歩くのは今回初挑戦の小学生たち

「塩の道を歩こう会」は、約30年前から行われているイベントで、村外から何度も足を運ぶ人がいる、野田村を代表する行事のひとつです。今回は、村内外から親しまれている「塩の道」にスポットを当てたいと思います。

塩の道とはどこにある？

塩の道は、野田浦（十府ヶ浦）・玉川浦、さらに南の小本浦などで生産された塩を内陸まで運んだ道のことです。北は野田街道、南は小本街道を通り和佐羅比山などの北上山系を越える道です。

野田街道は、大葛、下戸鎖、橋場、卯坂、小国、席、合戦場、二又、平庭峠、江刈、葛巻、浅渡、小屋瀬、廻立、沼宮内へ出る道といい、沼宮内は奥州

街道筋にあることから、西北は鹿角街道に続き、南下すると旧玉山村を通って城下盛岡へ入る道となっています。塩を積んだ牛方はさらに南下し、花巻や沢内地方まで行ったり、鹿角街道を通り秋田県の鹿角方面まで行き、塩と米穀を交換したそうです。「塩の道を歩こう会」では、野田街道の一部を歩いており、道中では二又街道を確認することができま

塩行商と塩の道・米の道

村では、塩づくりを専業とするのではなく、農業や漁業も生業としていました。しかし、農業は地形的に粗田が多く、規模や生産力はよくありませんでした。「ヤマセ」が吹きつけることで冷害凶作も続

き、食糧の確保や人々の生活は製塩に頼られ、塩行商に対する村人の期待も大きかったとい

奥州街道筋では、塩一升は玄米または粳米一升と交換というのが相場でした。さらに奥地へ沼宮内から寺田、平館へ行き、鹿角街道を通じて鹿角方面まで行くと塩一升は米三升にまでなることから、山の峠を越え、深い谷や沢を下り、左右へ蛇行する困難な道であったも、牛方は山中の奥地へと塩を運びました。

塩の道は、鹿角の住人にとって米穀三升出しても惜しくない貴重な塩を得る道であり、野田の牛方にとっては生きるために必要な米穀を得る米の道でもあったのです。

塩宿

牛方が歩いた塩の道は往復7〜8日から半月に及ぶ時もあり、熊や狼からの危害に注意しながら、人里離れた山中で野宿を繰り返しました。道中には、宿泊や食事を提供する塩宿や中継所もあり、大変繁盛していたようです。中継所のひとつに旧山形村馬寄平

の馬場家があります。馬場家の前の通りは大正の初めに久慈―川井県道ができるまでは沼宮内と野田、久慈を結ぶ主要な街道であり、塩をつけた牛方だけでなく、沼宮内や葛巻から米をつけた牛方なども休んで囲炉裏の火にあたったそうです。休憩や宿泊に限らず、野田や葛巻からそれぞれ馬場家を目指すところから、馬場家を目指すことから、塩や米穀を交換する場所でもあったとい

牛方仁義



仁義とは他人に対して欠かせない礼儀上の務め、義理ということですが、塩の道にも仁義にまつわる「牛方仁義」の話があります。

昔、若い女牛方が追う一匹の牛が泥に入り込み出られなくなっていた時、通りかかった3人の牛方が見て見ぬ振りをして助けなかった。それを見ていた60歳位のおじいさんが、「なんて野郎だ。牛方の仁義を知らないわけではないだろう。女子どもだと思つて馬鹿にして。絶対に忘れるなよ」と助けてくれた。すると数年

後たまたまそのおじいさんと歩いていると、あの時の3人の牛方が同じように泥に入り込み困っていた。おじいさんと女牛方がそこを走り抜けると、「困つてるのを見ぬふりをして走り抜ける」とは何事だ！牛方の仁義を知らないのか！謝らないとただじゃおかないぞ！」と3人に取り囲まれてしまった。しかし、おじいさんは、「お前たちは以前、娘が困っているのを見ぬ振りをして走り抜けたらう。牛方仁義も聞いてあきれれる。その時の娘がこの子だよ」とい

うと、勢い込んだ3人は何も言えなくなり、ついには謝つた。――牛方同士の仁義の話。お互いに助け合うことが礼儀というのには牛方に限ることではありません。悪いことをすると自分にも返ってくるものですね。

今回の内容は、野田鹽べこの道（昭和56年4月1日発行）、野田村の歴史ものがたり（平成元年7月10日発行）を参考にし、塩の道の歴史についてその一部に触れました。皆さん、歴史に思いを巡らせ、塩の道を歩いてみませんか。



二又街道を示す道標（昭和57年に村教育委員会が設置）

躍動

野田村で輝く がんばる子どもたちをクローズアップ



優勝した野田・三崎中学校合同チーム

野田中・三崎中合同チーム 久慈地区中学校新人大会優勝

野田中学校と久慈市立三崎中学校の合同チームは10月13日、北上市民岩崎球場で行われた第7回清水隆一杯岩手県中学生新人野球大会の決勝戦で釜石中学校を2対0で破り、優勝を果たしました。

同チームは、3年生が引退後結成した新しいチームで、三崎中学校の生徒が野田村に通いながらライジングサンスタジアム、山村広場などで共に練習を重ねてきました。

野田中学校野球部の本大会での優勝は初めて。今後の活躍が期待されます。

直心館～各種大会で好成績

直心館で柔道を学ぶ児童らは、9月、10月に開催された各種大会で優秀な成績を収めました。大会結果について紹介します。

●第24回北奥青少年柔道大会

兼第38回県北スポーツ少年団柔道大会 (9/21開催)

団体 優勝 (山田煌晟、小野寧久、小野寺夢佳、三上京史、太田陽紀)
個人 準優勝：太田陽紀

●第25回知事杯争奪岩手県少年柔道大会 (9/28開催)

男子団体 3位 (三上京史、外浦風汰、山田煌晟、仲村魁斗、太田陽紀)

●第25回久慈地区ふれあい柔道大会 (10/11開催)

団体 Aチーム 2位 (外浦風汰、山田煌晟、三上京史、仲村魁斗、太田陽紀)
個人 低学年の部 1位：松川咲埜 2位：松本廉杜 3位：次嘉大海
高学年の部 1位：太田陽紀



北奥青少年柔道大会での優勝は初!

久慈バレーボールクラブスポーツ少年団 ～第22回九戸村郵便局長杯優勝～

野田村と久慈市の児童がともに活動する久慈バレーボールクラブスポーツ少年団は、10月11日開催の標記大会で見事優勝に輝きました。

決勝に出場した田中睦子さんと次嘉香波さんは「昨年の久慈の大会では決勝で負けたので今回リベンジできた。全国大会で優勝できるチームになるように頑張りたい」「県大会3位のチームに勝って嬉しい。もっと強いアタックやサーブ、バックアタックを決めていきたい」とそれぞれ優勝の喜びと今後の抱負を語りました。

12月13日には野田村で開催の大会があります。みなさんの応援をよろしくお願いします!



優勝した久慈クラブ(1番が次嘉さん、5番が田中さん)

わたしは主張久慈地区大会 夢は医療で国際協力

8月25日、久慈市でわたしの主張久慈地区大会が開催され、参加した野田中学校3年生の村樹里さんが優秀賞に輝きました。大会では、東日本大震災に向き合い、たくさんの人との繋がりが触れ合いを通して考えたこと、見つけた夢について思いを届けました。今回は全文を紹介いたします。

夢の向こうへ繋ぐ夢

野田村立野田中学校

3年 中村 樹里



「荒海ホタテは大切なブランドです。荒海ホタテは水産の未来です。」7月7日、野田村の独自のブランド「荒海ホタテ」が初出荷を迎えました。式典で聞いた、漁協の方のこの言葉に、私は心を打たれました。三年前のあの日、無情にも海は、故郷の風景を一変させました。中でも、直接的な被害を受けた漁業関係者の皆さんは、長く険しい道のりを歩んできたの

だと思えます。多くのものを奪った海と向き合い、前に進むとうとするのはどれほど大変なことでしょう。

野田村では、沢山の家が流され、37名もの尊い命が奪われただけでなく、多くの方が大切なものを失いました。しかし、深い悲しみと混乱の中でも、互いに助け合い、前を向く大人達が沢山いました。避難所でいち早く食料を配ってくださった方。恐怖に震え、暗い気持ちに沈んでいた私達子どもを気にかけ、心強い言葉を掛けてくださった方。そんな方々の姿に何度も励まされました。震災から一カ月後、私達が小学校で掲げたテーマは「元気を発信」、中学校では「野田村の太陽になろう」。私達には何もできないけれど、せめて元気に頑張る姿を見せようと、使命感を抱き、心からの願いをこの言葉に込めたのです。

そして今、私は生徒会長を務めています。今年度は「繋」をスローガンに掲げて、村の方々との交流を図ることを活動の柱の一つにし

ています。合唱やソーランに加え、創作太鼓「路〜いざ歩まん〜」も様々な場面で披露しとても喜ばれています。同時に、私達自身も達成感を味わい、いつしか、村の未来や自分の将来を考えるようになりました。

私達は震災直後、どうしようもない程の悲しみや絶望に襲われまされた。それでも少しずつ前を向くことができたのは、日本国中はもちろん、海を超えて支援をしてくださった皆さんのおかげです。震災は多くの繋がりを断ち切りましたが、新たな繋がりも生んだと思っています。この三年余りの間、多くの人と出会い、様々な体験をして、私なりに考えてきたことがあります。それは、まず「知る」こと、そして「自ら行動すること」、それこそが、本当に大切なのだという事です。現実を知らなければ、行動を起こすことはできませんし、自ら行動しなければ、未来を創ることはできないと思います。

高台に立つ野田中学校からは、眼下に太平洋が望めます。私達に

数々の試練を与えた海に向こうに、私の夢はあります。それは、医療という形で国際協力に携わることです。ユニセフの最新の報告によると、五歳未満の子どもの死亡数は年間660万人です。4・8秒に一人の幼い命が失われているのです。その背景には貧困や紛争、自然災害等があります。辛く厳しい状況の中で、もっと生きたいと願いながら亡くなっていくこうした子ども達の力に、私はなりたいたいと思います。今、世界を変えようとしている人々の背中に学び、それを道標として歩むことが目標です。

震災は私に多くのことを教えました。自然の脅威、命の儚さ、人との繋がりが、希望の力、人間の強さと逞しさ…。そして、海に向こうの世界へと目を向けさせました。あの海に向こうに広がる世界を、私達が創っていく未来をこの目で見つめ、できることを考え、実行していきたいです。生かされた者として、自分の路をしっかりと歩んでいこうと思います。

新生児誕生祝品・エンゼル祝金贈呈式
新しい家族の誕生で賑やかに

10月6日、29日に役場で新生児誕生祝品・エンゼル祝金贈呈式が行われました。

10月の対象世帯はそれぞれ6世帯で、贈呈式では木製パズルや祝金の目録が村長から手渡されました。



三男 健くんと四男 彩くんを授かった玉川さん家族(写真左)と二女 璃帆ちゃんを授かった澤口さん親子(写真右)

野田村旗争奪クラブ選手権大会
5回コールドで優勝

第15回目となる野田村野球協会主催の大会が10月19日、26日の2日間開催され、決勝を12対4の5回コールドで制したNODA CLUBが前身のADON CLUBから通算5回目となる優勝を飾りました。決勝で対戦した高校3年生のチーム2011(ニーマルイチイチ)は、中学卒業後バラバラになった野田中野球部の球友が久々に集まり結成したチームで、気の合った仲間同士、真剣ながらも久々の再会を楽しみながらプレーしていました。



5回目の優勝を果たしたNODA CLUB



澤口さん親子 長女 結琴ちゃんの誕生でかわいい妹ができたお兄ちゃんも出席

8月に双子の男の子が生まれた玉川孝志さん(根井)は「まさか双子が生まれるとは思わなくて双子だと知ったときはただただ驚いた。2人ともすくすく元気に育ててほしい」と新たな家族の誕生を喜びました。

エンゼル祝金は第3子以上を出産した人が対象で、第3子は8万円、第4子以上は10万円が贈られます。

第4回田んぼ体験事業
昔の道具で脱穀体験

野田小学校(小原正弘校長)の4年生は10月31日、4回目となる田んぼ体験事業で千歯扱き(せんばこき)や唐箕(とうみ)などの昔ながらの道具を使った脱穀体験を行いました。

坂本愛莉さんは「脱穀機の使い方が難しくペダルの勢いで自分まで跳ねてしまった。大変だったけど汗をかいて楽しく体験できた」と様々な道具を使った脱穀体験を楽しみました。



脱穀機の回転で勢いよく穂先から粉が飛んでいきます

久慈地方の伝統料理を学ぶ
まめぶ作りに挑戦

岩手県立久慈工業高等学校(渡邊好章校長)の3年生は10月7日、まめぶ作り教室を開催し、野田村食生活改善推進員協議会(貳又糸な子会長)からまめぶの作り方を教わりました。

今回初めてまめぶを作ったと話す間明直大君は「まめぶの中に入れる黒糖を潰す係りだったが固くて大変だった。今まであまり食べる事がなかったが、自分



食改さんとの交流も深まりました



まめぶのサイズが全然違うよ!



お世話になった食改さんと記念写真

で作った料理はとても美味しかった」と笑顔を見せました。

味付けに苦戦したと話す米田一君は「何度も味見をしながら味付けしたが自分たちだけでは味がうまく決まらなかった。食改さんが教えてくれたから美味しくできた」と食改さんへの感謝の気持ちを述べました。

美味しかったよ!



手作りまめぶ汁のお振舞い
料理をとおして笑顔に

10月21日、まめぶ作り教室で作りを勉強した久慈工業高校の生徒らが、野田中学校仮設住宅の集会所で手作りのまめぶ汁を振る舞いました。

集会所に集まった住民は約20人。「とても良い香りがする」「マイタゲが効いている」「出汁が出ていて美味しい」などと口にしながら嬉しそうに頬張りました。



具だくさんの郷土料理に舌鼓

赤坂クニ子さんは、「初めて食べた。キノコの出汁が効いてとても美味しい。生徒の皆さんが作ってきてくれて嬉しいし、ありがたい」と話し、初めて食べる久慈地方の伝統料理を味わいました。

調理・振る舞いに参加した藤森春香さんは、「量が多くて味付けが大変だったけど、食改さんから教わったことを生かして美味しくできた」と自慢のまめぶ汁を届けました。



生徒とまめぶを囲んで交流

野田村漁協へ寄附金贈呈

フォークリフト購入で負担軽減

10月20日、下安家漁港で寄附金の贈呈式が行われました。寄附金は、宮城明泉学園（理事長ジャン・ブローマン）がフォークリフト購入費として野田村漁協に贈るもので、生産者を代表して内野澤理事は「購入したフォークリフトは、漁具や生産物の運搬に利用し、ホタテなど家庭に届けていきたい。大切にに使わせていただく」と感謝の思いを述べました。

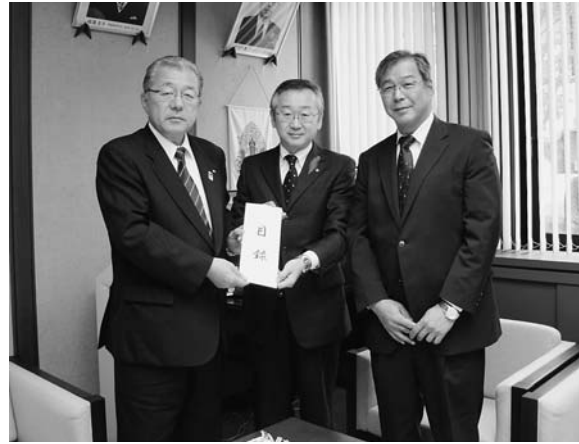


贈呈式出席者で記念撮影(写真中央左：宮城明泉学園理事長)

東北電力LED防犯灯寄贈式

要望受け入れ贈呈

村に東北電力久慈営業所からLED防犯灯20基が贈られることとなり、10月6日、目録の寄贈式が行われました。防犯灯の寄贈は村からの要望を受けて実現したもので、今回が2回目。村長は「要望を聞いてくださり感謝する。安心・安全の地域づくりに活用させていただきたい」と謝意を伝えました。



東北電力久慈営業所 有川増博所長(写真中央)から目録を受け取る村長。写真右は取付工事を担当する株式会社ユアテック久慈営業所 大浜勝也所長

都市区画整理事業地鎮祭

復興へまた1歩

土地区画整理事業内の災害公営住宅建設工事の地鎮祭が10月26日に執り行われました。神事には関係者約30人が出席。災害公営住宅は年度内の完成を目指して工事が進められます。



立砂に鍬を入れる小田祐土村長と貳又正人議長

農地パトロール

健全な農地利用のために

村農業委員会（貳又文雄会長、委員12人）は10月27日、農地パトロールを行いました。

パトロールでは、昨年度農地転用が許可された案件などの履行状況の確認と周辺の遊休農地の見回りを行い、現状を確認しました。

同パトロールは違反転用の発生防止と早期発見、耕作放棄地の把握などを目的に毎年行われているものです。



計画どおり農地転用したか見回る農業委員

友好市町村だより 様似町

採れたての秋の味覚を食卓に

さまに地場産フェア開催

新鮮な海産物や農産物が格安で手に入ること毎年人気の「さまに地場産フェア」が、10月26日にAコープ様似店前で開催されました。当日は晴天に恵まれ、様似産の新米や野菜などの農産物、秋鮭などの魚介類が販売され、お目当ての商品を求め、販売開始前から長蛇の列ができ、開始とほぼ同時に売り切れる品も出るなど大にぎわいでした。友好村の岩手県野田村ののだ塩を使った商品や、以前に友好町村の交流を行っていた新潟県味方村（現在の新潟市味方地区）からは、日本酒やレンコンなど、珍しい品物も出品され、



今年も会場は大盛況になりました。

野田産ヤマブドウを使った商品も好評

100歳祝い記念品贈呈式

周囲の支えに感謝

10月10日、特別養護老人ホームことぶき荘で種綿清子さん（沢山）の100歳の長寿を祝い、記念品の贈呈式が行われました。式では、村長からののだ焼きの壺や村長直筆の色紙、野田村共通商品券が贈られました。記念品を受け取った種綿さんは、「みなさんのおかげ。お世話になることが日々の楽しみ」と話しました。



100歳のお祝いに親族も駆けつけました

協定調印式

高齢者見守りなど相互協力

10月16日、野田村、日本郵便株式会社久慈郵便局および野田郵便局の3者は災害発生時の対応と平常時の高齢者などの見守り活動について、相互の連携が円滑に行われることを目的とした協定を締結しました。協定には、災害時の避難者リストの情報共有、避難所での臨時ポストの設置や、平常時の高齢者などの異変を察知した場合の情報提供などが定められています。



写真右から佐々木久慈郵便局長、村長、大石野田郵便局長

都市公園工作物づくり

デザインした案内板を形に

都市公園の遊具や案内板のデザイン・制作を担当している久慈工業高校の2年生は10月21日、前回の取り組みの中で決めたデザインを基に案内板の制作を進めました。作業は、公園施設製品や遊具などの設計・製造のノウハウを持っている中村弘前株式会社（代表者朝倉辰夫）の職員から指導を受けながら行われ、生徒たちは様々な技を学びながら制作に励みました。



塗料を塗ってドライヤーで乾かす作業

住民福祉課だより

ごみの減量化のため
衣類の回収をおこなっています！

村では、ごみ減量化の一環として衣類などの回収を行っています。回収品目は衣類全般、バッグ、靴などで、回収後はリサイクルされます。

回収ボックスの設置場所は総合センター風除室です。中身の見える袋に入れて出してください。

布団などの寝具類、カーテン、片方みの靴などは出すことができませんのでご注意ください。

みんなでルールを守って資源の節約、ごみの減量化に努めましょう。

■問い合わせ
住民福祉課 ☎ 78・2927



回収ボックス

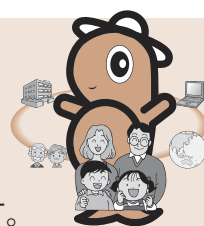
のんちゃんネット
復旧工事が始まります

被災のため再建した家屋などへ「のんちゃんネット」を整備します。

各世帯に訪問し工事を行います。できるだけ日常生活に支障のないよう進めますので、ご協力をお願いします。

不明な点がある場合や設置している端末機の調子が悪い、使えなくなった…などの場合は村特定課題対策課へご連絡ください。

■問い合わせ 特定課題対策課 ☎ 78・2963



印紙税の非課税措置

震災により滅失または損壊した建物の代替建物を取得する場合など（新築・損壊建物の修繕・損壊建物の譲渡・被災した建物が所在した土地の譲渡）の被災者が作成する不動産の譲渡に関する契約書などについては印紙税が非課税となります。

（※業者が作成する物は対象外）

対象期間は平成23年3月11日から平成33年3月31日までの間に作成される契約書で、既に印紙税を納めてしまっている場合でも、必要な手続きを行うことで還付を受けることができます。

対象は被災住宅の所有者に限られることから、各種手続きにはり災証明が必要となりますのでご確認ください。

不明な点や非課税措置の詳細については、下記税務署にお問い合わせください。

■問い合わせ
久慈税務署 ☎ 0194・53・4161
8:30~17:00（土、日、祝日、年末年始を除く）



契約書に貼付する印紙の見本です。

農業用廃プラスチックの回収

ハウスのビニールやラップフィルムなどの野焼き、無許可の埋め立ては法律で禁止されています。久慈地方農業農村活性化推進協議会では、農業用廃プラスチックの回収を行いますのでご利用ください。

日時 12月1日(月)~5日(金) 9:00~16:00
場所 JA野田野菜集荷所
方法 7種類に分類し回収場所へ搬入する
(塩化ビニール類、ポリエチレン類、遮光幕、肥料袋、畜産用ラップフィルム、育苗ポット、苗箱)
料金 71円/kg
■問い合わせ JA新しいわて野田支所 ☎ 78・2155

災害義援金の受入状況

村にいただいた義援金についてお知らせします。皆さまからの温かいご支援、ありがとうございます。

受入期間 10月1日~31日
受入件数、金額 4件 2,047円
受入総件数、金額 1,273件 106,049,068円

いきいきライフ 鞍掛山登山・日帰り温泉ツアー
素晴らしい秋景色に感動！

10月10日にいきいきライフ「鞍掛山登山・日帰り温泉ツアー」が開催され、16人の村民が参加しました。

爽やかな秋晴れの下、参加者たちは滝沢市にある鞍掛山（標高897m）を約90分かけて登りました。頂上に着くと雄大な岩手山の景色が待っており、感動の声が上がりました。

1時間かけて下山した後は、雫石町の網張温泉で美味しい昼食を味わい、登山でかいた汗をゆっくりと流しました。参加者は「天気も良く、楽しい1日を過ごせた。また行きたい！」と満足した様子でした。



岩手山を後ろにニコリ♪

★12月のおはなし会★

みんなでたくさん本を読もう！

図書館ボランティア あっぷっぷ による読み聞かせの会です。

どなたでもお気軽にお越しください。

日時 12月20日(土) 14:00~

場所 村図書館内 児童室



開館時間のお知らせ

図書館
平日 10:00~21:00
土日祝 9:00~21:00
体育館
8:30~21:00
8:30~17:00 ※月曜日のみ

農業委員会からのお知らせ

農地の転用には許可が必要です！

農地は、食料の安定供給の基盤であるとともに、国土保全や景観維持など多面的かつ公益的な役割を果たしています。

この大切な農地を守るため、開発行為（宅地、資材置場、駐車場などへの転用など）は農地法により制限されており、事前に許可が必要です。

自分の土地であったり、一時的な転用であっても同様に許可が必要になります。

農地の権利取得は30%以上の農地で

自ら耕作のために農地の所有権などの権利を取得しようとするときは、取得後において30%（下限面積）以上の耕作面積を確保することが必要です。

許可を受けるには

転用許可申請の窓口は農業委員会です。申請書の締切日は、毎月10日です。許可後（約2カ月後）でなければ着工出来ませんので、早めに手続きをしましょう。内容により個別に審査し、許可・不許可を判断します。農業振興地域の農用地区域内の農地については、除外手続きを条件に転用できる場合があります。

農地に盛土する場合

引き続き農地として使用する場合であっても盛土などで形質を変える場合は届け出が必要となります。

■問い合わせ 農業委員会事務局 ☎ 78・2934



戸籍の窓口

10月受付分(敬称略)

★お誕生おめでとう

小野寺颯太(友樹・桃子) 下明内
中村 奏太(圭祐・美香) 下泉沢
清水川由奈(光・絵美) 港

■ご冥福を祈ります

外 館 裕 一 (54) 港
八 幡 良 雄 (78) 中 平
上 山 繁 雄 (80) 根 井
大 澤 徹 (78) 横 町
根 井 茂 男 (74) 玉 川

人の動き

男 2,177人(+2)
女 2,325人(+6)
計 4,502人(+8)
世帯数 1,651世帯(+1)
(人口、世帯数は外国人を含む)

○村内の交通事故 人身事故 0件
物損事故 5件
○救急車出動件数 14件
(うち村外 3件)
○飲酒運転検挙者数 0人

駐在所だより

☆飲酒運転を根絶しましょう

年末を迎え、何かと飲酒の機会が増えるこの時期、飲酒運転が懸念されます。身体にアルコールを含んだ状態で自動車運転すれば、重大な交通事故につながるおそれ極めて高くなります。

職場や家庭で飲酒運転をしない・させない環境づくりをお願いします。飲酒運転は重大な犯罪です。
野田駐在所長 山根 誠
☎78・2161



ホッとひといき

■野田村民大運動会に参加された皆さま、お疲れさまでした。運動習慣のない私は、日頃の運動不足を毎年後悔しています(笑)。やはり、地区の皆さんと一つの目標に向かって一生懸命やるというのは楽しいですね。今回参加できなかった方も来年はぜひ一緒に気持ちの良い汗を流しましょう！



被災建築物手数料免除について

被災した建築物を再建する場合、建築確認申請などの手数料が免除される場合があります。免除申請は、「確認申請手数料等免除申請書」に市町村が発行するり災証明書などの被災を証明する書類を添付し、建築確認申請提出前に下記に提出してください。

■提出先・問い合わせ

県北広域振興局 土木部
☎0194・53・4990

岩手県学生会館入寮生募集

公益財団法人岩手県学生援護会では、東京都要町にある「岩手県学生会館」への平成27年度入寮生を募集しています。本会館は、東京で勉学に励む学生を支援するために設立されたもので、入寮生は全員が岩手県出身者です。

■募集人員

男子 15名程度 女子 20名程度

■応募資格

岩手県出身者で①大学院(修士課程)②大学③短期大学④専修学校(専門課程)の学校に通学する向上心に富み、健全な社会性を備え、かつ身体健康な人

■選考方法

書類と面接による選考

■申込受付期間

第1回:平成27年1月20日~2月13日
第2回:平成27年2月19日~3月5日

■書類提出先および問い合わせ

〒171-0043
東京都豊島区要町2丁目5番5号
公益財団法人岩手県学生援護会事務局
岩手県学生会館 ☎03・3972・4783
ホームページ <http://www.k4.dion.ne.jp/~iwate-sp/index.html>

労働保険適用促進強化期間

11月は「労働保険適用促進強化期間」です。労働保険は、政府が管理、運営している強制的な保険であり、原則として労働者(パート・アルバイトなどを含む)を1人でも雇っている事業主は、労働保険(労災保険・雇用保険)に加入する義務があります。

詳しくは、岩手労働局総務部労働保険徴収室、最寄りの労働基準監督署または公共職業安定所にお問い合わせください。

地デジ難視対策衛生放送終了

総務省は、地上アナログ放送終了までに地上デジタル放送の受信環境が整備されない世帯に対し、整備が完了するまでの間「衛生セーフティネット事業」を実施していましたが、平成27年3月末で事業を終了することとしました。事業終了と合わせ、国が実施している地上デジタル放送の受信環境整備のための各種支援制度も終了します。現在、衛生セーフティネット事業による地上デジタル放送を視聴している世帯は、平成27年4月以降地上テレビジョン放送が視聴できなくなる可能性がありますので、早期の対応をお願いします。

デジアナ返還サービスについても、平成27年3月までに終了することとなりました。デジアナ返還サービスを通じてアナログテレビで地上デジタル放送を視聴している世帯は、早期に受信環境を整えていただくようお願いいたします。

■問い合わせ

総務省 地デジコールセンター
☎0570・07・0101
(平日、土、日、祝日9:00~18:00)

赤い羽根共同募金 助成事業募集

岩手県共同募金会では、住民参加による福祉コミュニティづくりの推進を目的に、地域で身近な福祉課題に取り組んでいる団体、住民に向けた福祉サービスを行う団体を実施する「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」事業を支援するため、助成事業を募集します。

■事業実施期間

平成27年4月1日~平成28年3月31日

■助成対象団体

地域の福祉向上を目的に活動する県内のボランティア・NPO団体、町内会・自治会などの任意の住民グループ

■助成額

1万円~20万円まで(千円単位で助成)

■対象経費

(1)住民を対象として行う地域での福祉活動に直接使用する機器・用具の購入経費
(2)地域で福祉活動を行う団体の活動拠点立ち上げに必要な機器などの購入経費

■応募方法

申請団体所在地の市町村社会福祉協議会に申請書類を提出してください

■申請期間

平成26年11月28日まで

■問い合わせ

申請団体所在地の市町村社会福祉協議会または岩手県共同募金会
(野田村社会福祉協議会 ☎71・1414)

多重債務相談窓口

東北財務局盛岡財務事務所では借金のお悩みについて相談を受け付けています。相談は秘密厳守・無料です。

■相談専用電話 ☎019・622・1637

■期間 月~金8:30~16:30

■所在地

盛岡市内丸 盛岡合同庁舎4階

ためらわず 知らせてつなぐ 命の輪

11月は児童虐待防止推進月間です。今年度の標語は全国公募により選定された愛知県水谷康夫さんの「ためらわず 知らせてつなぐ 命の輪」です。

児童虐待は社会全体で解決すべき問題です。少しでも気になることがあった場合には、ためらわず連絡してください。

■問い合わせ(相談窓口)

住民福祉課 ☎78・2927



国保情報

ジェネリック医薬品を利用して 医療費を節約しましょう

ジェネリック医薬品(後発医薬品)は先に開発された医薬品(先発医薬品)の特許が切れた後に他の医薬品メーカーが同じ成分、同じ効き目で製造した低価格の薬です。

新薬と有効成分が同じなので、同等の効果が得られ、薬代が安くなる可能性があります。

病状などによりジェネリック医薬品への変更ができない場合、またジェネリック医薬品がない場合もあります。使用を希望する場合は診察を受けている医師・薬剤師にご相談ください。

■問い合わせ

住民福祉課 ☎78・2928

ふれあい交流スポーツフェスタ & 結いっこフェスタ

障がいのある人の社会参加と交流を目的に「結いっこフェスタ&ふれあい交流スポーツフェスタ」を開催します。

■日時 12月4日(木) 10:00~12:30

■場所 久慈市民体育館

■内容 福祉施設製品の販売、作品展示、フライングディスクの体験コーナーなど

■問い合わせ

結いっこフェスタ:久慈市社会福祉協議会 ☎53・3380

ふれあいスポーツフェスタ:久慈市社会福祉課 ☎52・2119

歴史の会公開講座

歴史の会では、「野田村の遺跡発掘の成果」をテーマに公開講座を開催します。

■日時 12月11日(木) 15:00~16:00

■場所 生涯学習センター多目的ホール

■内容 海の蝦夷と蔵手刀 一発掘調査から見た野田村の歴史一

■講師 井上雅孝氏(村教育委員会)

■費用 無料

■問い合わせ 野田村歴史の会事務局
吉田照夫 ☎78・3337



年金情報

年金月間・年金の日(11月30日)

日本年金機構は、厚生労働省と協力して、毎年11月を「ねんきん月間」と位置づけ、国民の皆様に公的年金制度を身近に感じ、理解を深めていただくことを目的として、「出張年金相談」「納付相談窓口」や各種説明会を積極的に実施しています。

一人一人が、「ねんきんネット」などを活用しながら、将来設計を考えていただく日として、11月30日(いいみらい)を年金の日とすることとしました。

この機会に「ねんきん定期便」や「ねんきんネット」で、年金記録や年金受給見込み額を確認し、将来の年金受給見込額をご自身の年金記録を基に様々なパターンで試算することもできます。

詳しくは日本年金機構ホームページでご確認いただくか、二戸年金事務所へお問い合わせください。

■問い合わせ 二戸年金事務所

☎0195・23・4111(代表)

土地取引の届け出について

土地を取得した場合(大きい面積の土地取引、森林の売買や相続など)は届け出が必要となる場合があります。

◇大きい面積の土地を取引したとき

・市街化区域...2,000㎡(約600坪)以上

・市街化区域を除く都市計画区域
5,000㎡(1,500坪)以上

・その他の区域
10,000㎡(約3,000坪)以上

■届出先 取引した土地がある市町村
(野田村の場合:総務課)

■期限 契約日から2週間以内

◇森林を買ったときや相続したとき

■届出先 所有する森林がある市町村
(野田村の場合:産業振興課)

■期限

所有者となった日から90日以内

土地は限られた資源です。限られた土地を有効に活用するために、忘れずに届け出をしましょう。



土内健一さん、良江さん 三女
つちない めい
土内 萌生ちゃん (南浜)

◆お姉ちゃんたちから
お姉ちゃんたちは萌生が大好き
だよ!



野崎武彦さん、夏希さん 二男
のさき はると
野崎 遥叶くん (上泉沢)

◆お兄ちゃんから
雪が降ったら一緒に遊ぼうね!

1歳になったよ!

11月生まれの子どもたちが、初めてのお誕生日を迎えました。みんなとってもカワイイ笑顔です☆すくすく元気に育ってね!



澤里康弘さん、彩さん 二女
さわさと あかね
澤里 茜音ちゃん (北区)

◆お姉ちゃんから
はやくかけっこして一緒に遊ぼうね! あかね大好き♡



木村将太さん、昌子さん 長男
きむら たいしろう
木村 太志朗くん (下泉沢)

◆父・母から
いっぱい遊んでいっぱい食べて大きくなるうね!



久慈健一さん、美津紀さん 二女
くじ あす
久慈 愛珠ちゃん (下泉沢)

◆お姉ちゃんから
あっちゃんに髪の毛ひっぱられても怒らないよ。みりあ、お姉ちゃんだから! 早くリカちゃんやシルバニアファミリーで遊びたいなあ。



山ぶどうプリンが
3人に当たる!

みんなの声 イラストコーナー

たくさんのイラストありがとうございます!
今月も素敵な作品が集まりました(^o^)



⑦ハートがいっぱい! 賑やかなハロウィンだね☆



⑥美味しそうなデザートがいっぱいだね♡
ウサギさん、食べすぎに注意だよ!



⑤まん中の男の子はあせひくんかな?
一生けんめい書いてくれてありがとう!



④長い睫毛がカワイイよね! 私も欲しい!

明内美咲さん 北区・19歳

広報クイズ

Q 久慈工業高校の生徒が振る舞った久慈地方の郷土料理は?

- ①まめぶ汁 ②けいらん ③ひつつみ

■はがきに答えやイラストなどを書いて総務課広報クイズ担当まで送ってください! (12月5日必着)

〒028-8201 野田村大字野田20-14

■先月号の答え ③野田園

■先月号の当選者

長根大悟くん、山下陽花さん、明内美咲さん